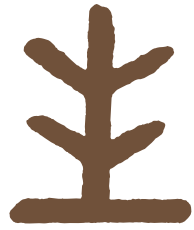


高槻地区保護司会だより

〔事務局〕 高槻市社会福祉協議会内
〒569-0065 高槻市城西町4番6号
☎ (072) 674-7684
〔責任者〕 高槻地区保護司会
会長 松本 大
〔編集〕 広報部



人はみな
生かされて
生きてゆく
更生保護ネットワーク

春爛漫

コロナよ去れ

新年度を 迎えるに当たって



大阪保護観察所
所長 鈴木 庄市

高槻地区保護司会の皆様におかれましては、平素から更生保護の活動に対して格別なる御理解と御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度を振り返りますと、社会全体が新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。特に、大阪府内では年明け早々、いわゆる「感染拡大の第六波」が到来し、新規感染者数が爆発的に増加する非常事態に直面したところ です。

この2年間、パンデミックと呼ばれる地球規模で感染症がまん延する歴史的災禍により、私たちの日常風景は

一変し、今では常時マスクを着用する「新しい日常」がすっかり定着した感があります。更生保護の活動におきましても、感染症対策を踏まえて保護司研修等が情報通信機器を用いたリモート形式で実施されるなど、「新しい更生保護」の始まりを予感させる様々な動きがありました。

今、私たちは大きな時代の転換期に立っていると思います。時代の転換期は、これまでの常識にとらわれず、個人及び組織の在り方を抜本的に見直し、目の前の現実に合わせて自ら変化することが求められているのではないのでしょうか。

新年度は感染拡大が終息した先の時代、いわゆるポスト・コロナ時代の嚆矢となる年であると思います。社会は時々刻々と変化していますが、来年度も高槻地区保護司会の皆様とともに、ポスト・コロナ時代における新たな更生保護活動に微力を捧げて参りますので、倍旧のお力添えを賜りますよう切にお願い申し上げます。

目次

- 【1面】 新年度を迎えるに当たって 大阪保護観察所所長 鈴木庄市
- 【2面】 承認欲求についての私的考察
- 【3面】 第四期定例研修会・新会員自己紹介・人事消息・保護司数・当麻保護司藍綬褒章受章
- 【4面】 会員文芸欄・あとがき

――随筆――

「母の保護司活動」

富田・阿武野地区

鷲山 和 敬

母英子は保護司でした。当時は暴走族、シンナー等の青少年が主な対象者でした。中には「反社」関係者もあり、車両からのタバコの吸い殻などで近隣の家々には大変気苦勞していました。

秘匿性の高い活動の中で一度だけ母に頼まれたことがあります。冬の

――私の保護観察日記――

芥川・清水・榎田地区

山下 喜代美

働き方改革が大きく変わっていることを実感している環境下で、私はかなり戸惑っています。変化に柔軟に対応できなければ、生き残れない危機感もあります。そのような状況下で保護司としての活動も対面による接触は避けて電話等の代替え手段を取るようにと連絡があったため、今回、

LINEによるビデオ通話を試みました。対面だとあつという間に1時間が過ぎてしまうのですが、ビデオ通話は初回といて15分ほどで終了してしまいました。

対象者は、バイクを乗りまわす元気旺盛な若い女性です。病院で介護支援の仕事に就いていますが、なかなか、体力的にも精神的にもタフでないかと持たないのではないかと、人間関係も複雑で思

十分を過ぎて戻らない場合は警察署に連絡する打ち合わせになっている旨を伝えると、連絡があればすぐに出勤しますと駐車は許可してくださいました。長い三十分でした。母は常に活動には徒歩や自転車でした。暑いときも寒いときも頑張っていました。月末には数通の報告書を記入しながら机で寝ていた姿は忘れることはできません。生前中のご厚情に感謝申し上げます。

者さん、同僚、先輩、上司と折り合いをつけながら、生きていく術を身に付けられるのか、心配をしています。日々のストレスを夜遅くまでYouTubeで紛らわせているのと、それと、心配の種。早寝早起きを勧めるが口うるさいと思われるかも……良き相談相手になれるように、日々精進あるのみの保護司2年目を迎えようとしています。

あ と が き

何故かいつもオリンピック開催の時期に、「あとがき」を書いています。コロナ禍での開催が、五輪の意味をかみしめる平和の象徴にふさわしい祭典となるように願います。ウクライナの選手が無事に祖国に帰れますように願います。「戦争？」だあれも望んではいません。(吉)

世界中を襲った新型コロナウイルスの感染拡大は、色々な行事が中止という、異例の事態となりました。この困難を乗り越えていくために、皆が力を合わせていくことが大切です。この感染症は、私たちの生活を見直す機会ともなりました。令和4年度にむけて、活動が始まり、2年近く潜んでいた体も、動きはじめました。(片)

コロナで陽性となり、ホテル住まいを体験してきました。10日間くらいでしたが、体力・気力が奪われ、隔離解除で外に出ると平地を歩いているにもかかわらず急な坂を登っているかのように思われました。健康の大切さを再認識させられた貴重な体験でした。(門)

ききよう俳壇

日を浴びて庭に幸あり福寿草
老友の息災の声初電話

松本 大

ききよう歌壇

冬の庭静けさやぶり鳥の声とび
たつそばでゆらぐ赤い実
二人の孫一年前の入学式晴れの
舞台の写真がうれし

名誉会員

澤田 浩子

悠久の歴史によって産み出され
その先端をいま生きている
果てしなき広がりをもつ大宇宙
その真ん中で生かされている

愚 狂 人



承認欲求についての私的考察

広報部 門川繁美

私たち人間は他人から認めてもらいたいという欲求をもっている。これを承認欲求というが、更生保護の観点から大事な視点を与えてくれるのではないかと思います、考えてみた。

人間は産声をあげてこの世に出てくる。それは自分の存在を知らせる行為である。人間の赤ちゃんは乳房を探して自分で移動することができない。自分の存在を知らせて自分の口まで乳房をもってきてもらうしかない。誰からも無視されては生き続けることはできない。自分の存在を知ってもらわなければ赤ちゃんは生き続けることができない。

幼児になってくると、大人にまわりついたり、踊ったり、変顔をしたりして、なんとか自分のほうを向いてもらおうとする。そして無視されると、泣き叫んだり、物を投げつけたり壊したりする。そして、もう少し成長すると、近しい大人に認められようと、勉強や運動で頑張る。勉強や運動以外でも絵が上手に描けるとか、歌がうまいといったことで認められようとする。爆音を立ててバイクで暴走したり、暴力をふるったりするのも他人に認められたいという欲求からである。

この自分の存在を知ってもらいたい、認められたいという承認欲求は人間である限りなくなることはない。金持ちになりたい、有名になりたい、名誉・地位が欲しい……等、すべて自分の存在を他人に認めてもらいたいという承認欲求がもとになっている。

人間にとって孤独は耐えることができない恐怖である。だから他人から認められない者同士は結束し、自らの存在を認めさせようとする。欲を捨てようとする修行者でさえ、そ

の修行を支えてくれる者がいなければ修行をつづけることはできない。人間は人の間でしか生きていけない。

人と挨拶をしたり、話をすることは承認欲求を満足させる基本でもある。ところが、まる2年に及ぶコロナ禍が子供の環境を悪化させている。学校は行事が少なくなり、給食中は友だちと話もできない。家庭では親のストレス発散の対象とされ、児童虐待のケースも増加している。この子たちはまた、より弱い存在であるものに対してストレスを発散するであろう。承認欲求の負の連鎖はどんどん拡大していく。また、最近多発している不特定多数を道連れにしての自殺行為は、なんとかして自分の存在を認めさせようとする行為のようにも思える。人と人とのつながりを奪われ、他人から認められることがなくなってしまった者の最後の承認欲求だったのではないだろうか。

個人が孤立し、承認欲求が満たされない状況が蔓延している。それが生きづらい社会を産みだしている。社会全体がお互いに声を掛け合い、助け合える社会を築いていくことが求められている。他人から認められることによって人間は生きていける。更生保護はまさに社会から排除されている人たちを迎え入れようとする運動である。



第四期 定例研修会

テーマ：「新たな類型別処遇
(類型別の社会資源活用)」

報 告：
2月14日(月)に予定されていましたが、オミクロン株の感染拡大により、自習となりました。



地区別保護司数 (令和4年2月1日現在)

〔高 槻 保 護 区〕 定数 100名		
保 護 司 会 員 数	在 籍 数	
	高 槻 ・ 大 冠	74名
	芥 川 ・ 清 水 ・ 榎 田	13名
	富 田 ・ 阿 武 野	12名
	五 領 ・ 磐 手	13名
	三 箇 牧 ・ 如 是	12名
保 護 司 会 員 数	島 本	15名
	島 本	9名

新 会 員 ・ 自 己 紹 介



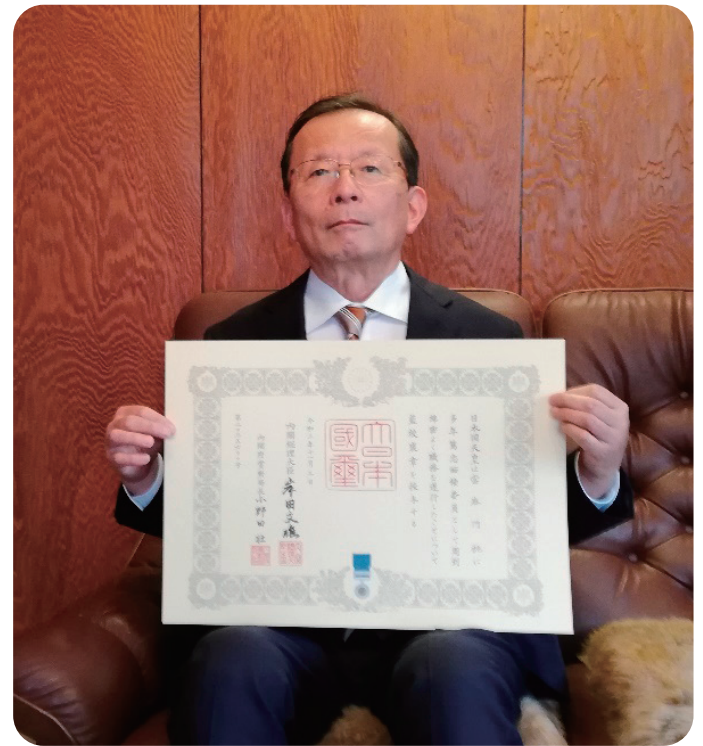
(富田・阿武野地区) ^{もともち しもん} 元持 史門

私自身がこれまでの人生において多くの方々に助けられ人生を向上させてことができました。受けた御恩を地域・若い世代に何かの形で恩送りとして返したい……そういう思いから保護司をさせていただきたいと考えようになりました。先輩諸兄弟の皆様にご指導を賜りながら、よりよい社会の構築に努めてまいります。



(島本地区) ^{おおしば ひろ} 大柴 一浩

いろんな方々のお力添えをいただき以前から関心のあった保護司として委嘱を受けることができ感謝しています。保護司としての自覚を持ち自己研鑽を重ねていくことで、私自身にとっての生活スタイルを見直す機会でもあります。諸先輩方のご指導を仰ぎながら努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



當麻円純保護司
篤志面接委員として藍綬褒章受章

篤志面接委員とは矯正施設で悩み事相談や矯正のために面接や講話を行うボランティアです



(芥川・清水・榎田地区) ^{みわ てつお} 三輪 哲生

初めまして、新しく保護司活動させていただきます芥川・清水・榎田地区 三輪 哲生と申します。もちろん活動は右も左も全くわかりませんが、少しでも対象者の方々の声に耳を傾け、共感し共に歩んでいけたらと思います。どうか諸先輩方々の助けをお借りし活動してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



人 事 消 息 (敬称略)

〔新任〕 …………… 令和4年1月25日付

(芥川・清水・榎田地区) 三 輪 哲 生

(富田・阿武野地区) 元 持 史 門

(島本地区) 大 柴 一 浩